



長篠合戦図屏風

六曲一隻 江戸初期（財団法人 犬山城白帝文庫歴史館蔵）

本屏風は、現存するこの種の合戦図屏風のうちではもっとも古く、かつ作品として優れたものとされる。この屏風には、江戸時代に作成された副本があり、それも成瀬家が所蔵してきた。

長篠合戦は、信長の足軽鉄砲隊のめざましい活躍で知られるが、本屏風には、鉄砲隊を編成し、物見役で活躍する成瀬吉衛門正一の姿が（写真中央部分拡大の矢印）描かれている。なお、対幅をなす小牧・長久手合戦図屏風には、犬山城主成瀬家初代正成の初陣姿が2カ所にわたり描かれ、成瀬家の先祖の功績記念として代々大切に所蔵してきた。

目 次

- 愛知県博物館協会平成17年度総会の報告について 2
- 平成17年度東海地区博物館連絡協議会
　　日本博物館協会東海支部総会の報告について 6
- 新規加盟館の紹介 7

愛知県博物館協会

平成17年度総会の報告

愛知県博物館協会の平成17年度総会が6月23日(木)、名古屋市千種区の「ルブラ王山」で、参加52館73名の出席のもと盛大に開催されました。概要は以下の通りです。

1. 開会

2. 会長あいさつ

トヨタ博物館 副館長 加納 哲夫氏

3. 協会表彰

糸魚川 淳二氏 (功労賞)

前豊橋市自然史博物館長

井上 喜久男氏 (功労賞)

愛知県陶磁資料館主任学芸員

樋口 敬二氏 (功労賞)

前名古屋市科学館長

4. 新加盟館紹介あいさつ

(財) 犬山城白帝文庫 歴史文化館

幸田町郷土史料館

生命の海科学館

5. 議事

議長 加納 哲夫氏(副会長)

①平成16年度事業報告及び決算報告について

1 研修会の実施

(1) 愛知県博物館等職員研修会

期 日 平成16年11月4・5日

会 場 ウエルサンピア岡崎

テマ 「資料保存と環境整備」

2004年末臭化メチル全廃に向けて

参加者 52名

(2) 部門別研修会

ア 自然科学部門

期 日 平成17年3月9日・10日

会 場 北設楽郡津具村、東栄町、鳳来町、新城市

テマ 「奥三河地方の地質と地下資源—観察と採集—」

参加者 7名

イ 歴史民俗部門

期 日 平成17年3月4日

会 場 佐織町中央公民館・研修室

テマ 「資料をいかに保存していくべきか」

参加者 23名

ウ 美術部門

期 日 平成17年3月12日

会 場 豊橋美術博物館及び豊橋市内

テマ 「資料の保存・修復の考え方と実際

(日本絵画を中心)」

参加者 20名

2 東海地区博物館連絡協議会

平成16年度総会への参加

期 日 平成16年7月16日

会 場 山梨県立美術館

参加者 8名 (愛知県博物館協会参加者)

3 第29回東海三県博物館協会

交流研修会の参加

期 日 平成16年10月8・9日

会 場 三重県立美術館講堂

テマ 「当館(うち)のいちおし
～ここまできたに～」

参加者 13名 (愛知県博物館協会参加者)

4 印刷物の作成・配布

(1) 協会報「愛知の博物館」 2回発行

(2) 「おでかけガイド」 2回発行

5 愛知県博物館協会40周年記念事業

愛知県博物館協会40周年記念誌作製

6 会議等

(1) 総 会 1回開催

(2) 理 事 会 1回開催

(3) 実行委員会 9回開催

7 その他事業

学校と博物館の連携について

(事務局、愛知教育大学)

8 平成17年度加盟等

入 会 3館 退会 1館

9 平成16年度決算報告

資料に基づき事務局より説明、異議なく承認されました。

②平成17年度事業計画(案)及び

予算(案)について

1 事業

(1) 愛知県博物館等職員研修会

愛知県教育委員会と共に博物館
関係施設等に勤務する職員を対象
とする。

期 日

会 場

テマ 未定

(2) 部門別研修会

ア 自然科学部門 平成18年2~3月予定
企画担当 凤来寺山自然科学博物館

名古屋市科学館

イ 歴史民俗部門 平成18年2~3月予定
企画担当 博物館明治村

- ウ 美術部門 平成18年2~3月予定
企画担当 愛知県美術館
- (3) 東海地区博物館連絡協議会
平成17年度総会への参加
期 日 平成17年7月15日
会 場 横浜情報文化センター
- (4) 第30回東海三県博物館協会
交流研修会
期 日 平成17年11月4・5日
会 場 名古屋市科学館
- (5) 表 彰 協会加盟館(園)に永年
勤続した者等の表彰を行う
- (6) 印刷物の編集・発行
・協会報「愛知の博物館」2回発行
編集担当 熱田神宮宝物館
でんきの科学館
・「おでかけガイド」2回発行
編集担当 名古屋市博物館
- (7) 「愛博協ホームページ」
名古屋市博物館
企画担当 名古屋市科学館

2 会 議

- (1) 総 会 (平成17年6月23日)
(2) 理 事 会 (平成17年6月23日)
(3) 実行委員会 (隨 時)

3 平成17年度加盟等

入会 3館

(財)犬山城白帝文庫 歴史文化館
幸田町郷土資料館
生命の海科学館

退会 1館

ウールの工房博物館 テキスタイル館

4 平成17年度予算(案)

事業計画案に基づく予算案を事務局
より提示、承認された。

※総会終了後恒例の講演会を実施、今年度は
十日町市博物館 主査 石原 正敏 氏による
「災害に備えて…中越地震の経験から」という
テーマでご講演をいただきました。

尚、次頁(4頁)に講演会資料を御本人の
了承のもと転載させて頂きました。万一の
場合に備え御参考になれば幸甚です。

――――――――――――――――――――――
☞役員、実行委員、事務局の一部が次のとおり交
替致しました。今後共、会員各位のご協力の程、
よろしくお願い致します。

愛知県博物館協会役員名簿

(平成17年度)

役職名	館(園)名	代表者名	備考
理事	名古屋市科学館	教育長 岡田 大	会長(従事者交替) H17.4.1交替
〃	トヨタ博物館	館長 加納哲夫	副会長
〃	愛知県美術館	館長 市川政憲	
〃	熱田神宮宝物館	館長 宮田理博	
〃	一宮市三岸節子記念美術館	館長 小野田雅一	H17.4.1交替
〃	東海市立平州記念館・郷土資料館	館長 立松 彰	
〃	岡崎市美術博物館	館長 芳賀 徹	
〃	愛西市 佐織歴史民俗資料室	館長 神田澄雄	H17.4.1交替
〃	昭和美術館	館長 柳澤幸輝	
〃	豊田市郷土資料館	館長 森下哲行	
〃	でんきの科学館	館長 宮地清美	
〃	豊橋市美術博物館	館長 金原宏行	H17.4.1交替
〃	名古屋市博物館	館長 竹内正	
〃	博物館明治村	館長 飯田喜四郎	
〃	鳳来寺山自然科学博物館	館長 横山良哲	
監事	徳川美術館	館長 徳川義宣	
〃	愛知県陶磁資料館	館長 佐治泰直	

愛知県博物館協会実行委員名簿

(平成17年度)

館(園)名	委員氏名	備考
名古屋市科学館	鎌田隆行	(会長館) H17.4.1交替
トヨタ博物館	宗沢清美	(副会長館)
愛知県美術館	深山孝彰	(理事館)
熱田神宮宝物館	佐竹俊郎	(〃)
一宮市三岸節子記念美術館	伊藤和彦	(〃)
東海市立平州記念館・郷土資料館	永井伸明	(〃)
岡崎市美術博物館	浦野加穂子	(〃)
愛西市 佐織歴史民俗資料室	石田泰弘	(〃)
昭和美術館	普天間公美	(〃)
豊田市郷土資料館	伊藤智子	(〃)
でんきの科学館	寺内泉	(〃) H17.4.1交替
豊橋市美術博物館	岡田亘世	(〃)
名古屋市博物館	美和文代	(〃)
博物館明治村	中野裕子	(〃)
鳳来寺山自然科学博物館	加藤貞亨	(〃)
徳川美術館	並木昌史	(監事館)
愛知県陶磁資料館	佐藤一信	(〃)

愛知県博物館協会事務局

事務局長	佐伯平二	名古屋市科学館 学芸課長
事務局	加藤憲宏	名古屋市科学館 総務課庶務係長
〃	牧野仁	名古屋市科学館 総務課
〃	伊藤つや	名古屋市科学館 総務課

新潟県中越大震災による考古資料被害

十日町市博物館 主査 石原正敏

2004年10月23日夕刻、新潟県中越地域を未曾有の強い地震が襲った。十日町市内では死者6人、負傷者500人以上、全壊・半壊した家屋が400棟以上という甚大な被害があった。

新聞等で報道されているように、十日町市博物館において国宝・笹山遺跡出土品をはじめとする考古資料に大きな被害があった。中でも土器類の損壊が著しく、国宝の深鉢形土器57点と浅鉢形土器5点については火焔型土器No.1を含む計37点に緊急修理の必要な破損が生じた。保存箱に収め収蔵庫に保管中の1点、特別展示室で市制50周年記念展に出展中の1点、東京で保存修理中の4点を含む計25点は幸いにも破損を免れた。また緩衝マット等を敷いて引出しの中に収納されていた土製品、石器、石製品に全く被害がなかったことには、吃驚させられるとともに、ホッと胸を撫で下ろす思いだった。

一方で、この度の地震では国宝のほかにも野首遺跡・栗ノ木田遺跡、城倉遺跡、赤羽根遺跡、横割遺跡、幅上遺跡、小坂遺跡など、十日町地方を代表する縄文前期～後期の復元土器類が100点以上被害を受けた。バラバラに壊れた土器群を目の当たりにした時、現場作業等で汗を流していただいた作業員や大勢の関係者の顔が浮かんできて、耐震対策が不十分であった悔しさと30年近くにわたり傾けていただいた努力が一瞬にして水泡に帰したことに対する申し訳ない思いで涙が止まらなかった。

収蔵資料の多くは、整理室や収蔵庫で棚に並べた状態で保管していたため、繰り返し襲った大きな揺れによって互いにぶつかり合ったり、土器特有の底部に比して口縁部や胴上半部が大きく、重心が高いという不安定な形状が災いして、転倒・転落し、破損したものと推定される。免震台が横揺れの地震に有効であることはこれまで指摘されていた。しかし、下から突き上げるような直下型の地震の場合にはあまり効果がなく、免震台にのっていた土器より、「てぐす」をかけたり、重しに砂袋を入れるような旧来の展示方法をとっていた土器の方が被害が小さかったのは皮肉な結果と言えるだろう。キャスター付きの展示ケースも揺れの時間が短い場合には、衝撃を吸収して被害が少ないことも実証された。

保管に際しては、土器ごとに専用の保存箱が用意できれば言うことはないが、棚に緩衝マット等を敷いたうえで転落防止のため細かく紐を張っておくだけでも耐震には一定の効果があるの

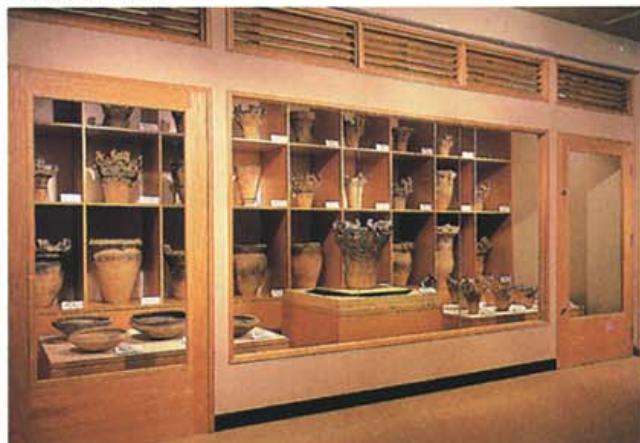
ではないかと考えている。なお、この度の地震では積み上げたコンテナが倒れて中の資料が散乱する被害はあまりなかったが、整理箱の重さに耐えきれず収蔵棚そのものが大きく変形してしまう例が多く見られた。収蔵並びに展示の方法について今後、検討すべき課題が多くあると感じている。

緊急修理が必要な国宝の37点の土器は、国・県の支援を得て、今後1年余りをかけて専門業者による修理が行われる予定である。また市指定を含むそれ以外の土器については、国・県の支援を得て、既に再復元の作業が始まっているが、こちらには相当の時間と費用がかかるものと覚悟している。

中越大地震では、これら出土品のほか、山城の一部に亀裂や崩落が見られたが、遺跡そのものの被害は少なかったように思う。ただ、遺跡周辺の地盤の硬さや活断層との位置関係等、検証すべき点は多い。当面は、特に降雪により山城等のさらなる亀裂や崩落の拡大が懸念されることから、パトロール等を強化して対処していきたい。

被災後、全国各地から数多くのお見舞いや激励等をいただいたことに心より厚く感謝申し上げるとともに、一日も早い復旧と展示公開を実現していきたいと思っている。

震災前展示



震災被害の様子



講演会資料『新潟県考古学会連絡紙』〈第63号〉より転載

愛知県博物館協会等職員研修会のご案内

平成17年11月16日(水)～17日(木)の両日、愛知県教育委員会・愛知県博物館協会の主催で、「平成17年度愛知県博物館協会等職員研修会」を開催いたします。

たくさんの方々のご参加をお願いします。

概要

1. テーマ 博物館等の災害対策について
2. 期日 平成17年11月16日(水)～17日(木)
3. 会場 愛知県美術館
〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2
☎052-971-5511 FAX052-971-5604

平成17年度

東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部総会報告

名古屋市科学館 総務課 牧野 仁

7月15日[金]、横浜情報文化センターにおいて開催されたみだしの理事会及び総会に参加しましたので、その概要を報告いたします。愛知県博物館協会からは、理事館である愛知県陶磁資料館長 佐治泰直氏を始め4館4名が出席いたしました。岐阜県からは8館9名、静岡県7館7名、山梨県6館8名、そして開催県の神奈川県からは28館37名の参加があり来賓その他関係者総勢80名ほどの参加者がありました。

理事会は総会に先立ち開催され、各県から計11名の理事及び2名の監事により、総会に諮る議案が審議され承認されました。

総会の概要は次のとおりです。

1 あいさつ…協議会会长(神奈川県立歴史博物館長)西川 杏太郎氏

2 来賓祝辞…日本博物館協会専務理事 五十嵐 耕一氏
神奈川県教育長 引地 孝一氏

3 表彰……糸魚川 淳二氏 豊橋市自然史博物館 前館長
(愛知県博物館協会推薦)

4 議題……

- 1 平成17年度理事及び監事の選任
- 2 平成16年度事業報告及び決算報告
- 3 平成17年度事業計画及び予算案
- 4 平成18年度開催県…岐阜県

5 日本博物館協会の主要事業と最近の動向…日本博物館協会専務理事
五十嵐 耕一氏

第53回全国博物館大会の日程等

平成17年11月17,18日(於)東京都江戸東京博物館

予定テーマ「市民とともに創る博物館」

6 創立50周年記念事業の取り組み…神奈川県博物館協会事務局
7 講演会…「横浜の近代建築の保存と活用」

横浜国立大学大学院教授 古田 鋼市氏



表彰者 糸魚川淳二氏の授賞式



新規加盟館の紹介

財団法人 犬山城白帝文庫歴史文化館

〒484-0082 犬山市大字犬山字北古券8
TEL.0568-62-4700 FAX.0568-61-5765



財団法人犬山城白帝文庫は、国宝犬山城ならびにそれに伝わった美術工芸品・書籍・古文書の保存管理・調査研究を行い、文化の発展に寄与することを目的として平成16年4月1日に設立されました。

当財団では、犬山市文化資料館内の常設展示室において、これら所蔵品を一般に公開する他、年に数回の特別展示、その他、各種講座・講演会・研修会などの文化的な催事を開催しています。



▶ご利用案内◀

- 〈開館時間〉午前9時～午後5時(入場は4時30分まで)
〈休館日〉12月29日～12月31日
〈入場料金〉個人100円／中学生以下無料
団体 80円(30名以上)

■アクセス



蒲郡情報ネットワークセンター 生命の海科学館

〒443-0034 蒲郡市港町17-17
TEL.0533-66-1717 FAX.0533-66-1817



生命の海科学館は、いん石や化石などの標本を通して、地球の歴史をご紹介する科学館です。46億年の地球史の中でも、「海のまち蒲郡」にふさわしく、海にまつわる歴史—海の誕生、生命の初期進化、海を舞台にした古生物の進化—がクローズアップされています。展示室では多くの標本に直接触れ、地球・生命の歴史を体感することができます。見て、聞いて、触れて、動かして、いん石や化石が語る地球の歴史をお楽しみ下さい。

▶ご利用案内◀

- 〈開館時間〉午前9時～午後5時30分

※1階 情報ネットワークセンターの施設は21:00まで利用出来ます。

- 〈休館日〉12月28日～12月31日

毎月(8月を除く) 第2火曜日

- 〈入場料金〉1F情報ネットワークセンター無料

3F生命の海科学館

大人700円／小人300円

■アクセス



幸田町郷土資料館

〒444-0124 愛知県額田郡幸田町大字深溝字清水36-1
TEL.0564-62-6682



昭和52年に開館した本館は、昔の時間を体感できる空間であることを目的の一つとし、町内の木材校舎の柱材を利用して建築されました。館内には考古資料や江戸時代の文書資料の他、

昭和30年代の居間・台所や民具・農具を再現展示した民俗資料、館外には自衛隊の戦闘機・航空機などが展示しており、来館者に一昔前の生活や技術力を体感してもらえるようにしています。

▶ご利用案内◀

〈主な展示品〉郷土資料館では、私たちの郷土を知っていただくため、民俗、歴史、考古資料などを陳列展示しています。

古文書、農具、家具、排水ポンプ、機関車の車輪、ジェット機など

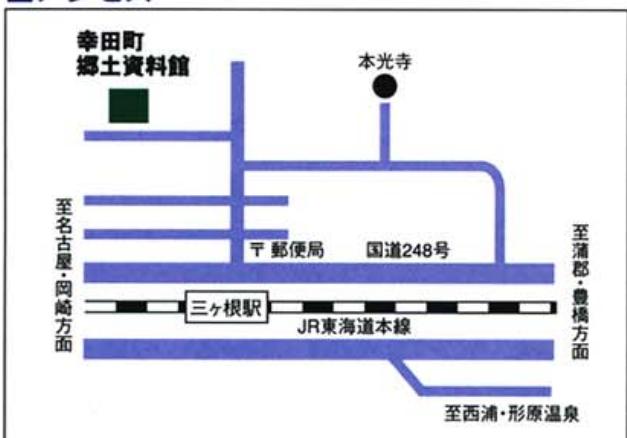
〈開館時間〉午前10時～午後5時

〈休館日〉毎週月曜日・木曜日

12月28日～1月4日（月曜日
・木曜日が祝日の場合はその翌日）

〈入場料金〉無料

■アクセス



JR東海道本線「三ヶ根駅」下車徒歩10分

愛知県博物館協会40年史の刊行について

昭和39年1月、愛知県博物館連絡協議会が加盟館11館で発足してから40年、愛知県博物館協会は今や132館の大きな組織に成長しました。

この間、館相互の交流に始まり学芸員懇談会、部門別研修会へとその活動も大きく進歩してきました。40年の節目にあたり、過去を振り返り、これから展望する「40年史」を刊行いたしましたので、是非とも博物館関係者のみならず、学芸員を志す多くの皆様にもご一読いただきたいと思います。

企画・編集・発行
事務局

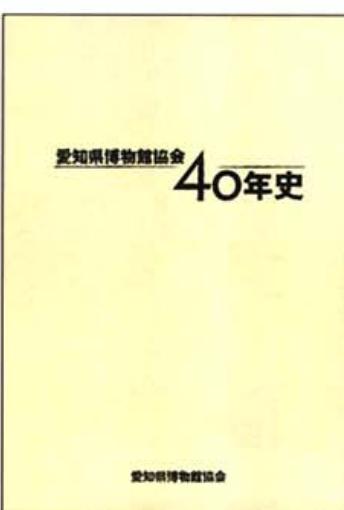
愛知県博物館協会
名古屋市中区栄17番1号
名古屋市科学館内

TEL 052-201-4486

おもな内容
・協会のあゆみ（年表）
・これからの博物館
・対談
（博物館・美術館の今を語る）

頒価 2,000円（印刷実費）
(送料：別途300円)

ご希望の方は、事務局までご一報ください。
(残部僅少)



「愛知の博物館」No.82

発行日 平成17年8月31日
編集・発行 愛知県博物館協会
〒460-0008
名古屋市中区栄二丁目17-1
名古屋市科学館内
TEL <052> 201-4486
FAX <052> 203-0788
<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>